

人事の意義を知り、年間実務スケジュールと重要業務のポイントを押さえる

# 人事管理基礎セミナー

名古屋  
会場新設

## 参加対象

- 新任の人事・労務担当者の方々、これから配属予定の方々
- 他部門から人事に異動、配属になった管理職の方々
- 人事部門の機能を強化したいと考えている人事部門の方々

## セミナーのねらい

採用、育成、評価、賃金をはじめ、人事分野のプロセスは多岐にわたります。人事に異動されたばかりの方は、これらを一つひとつ担当しながら、経験を積んでいくこととなりますが、根幹の本質的な理解がないままでは、人事業務の枝葉から従事することになりかねません。結果的に経験を通じて全体像を把握していくのもひとつですが、早期の段階で人事の本質や全体像に対する理解がある状態で、日々の業務に向き合っていただくことが、より軸ブレのないアウトプットや成果創出に繋がります。

また、同じ管理部門でも、総務や財務・経理部門とは違い、人事業界として明確な年間スケジュールが存在するわけでもありません。

本セミナーでは、大きく一年の人事業務の流れを理解しつつ、社内担当によって分断されがちな採用、育成、評価、賃金といった人事業務のコツを押さえることで、人事部門の役割を理解するとともに、より高い社会価値につながる人・組織づくりの一助になることを目指します。



POINT!

- ✓ 月別の人事の実務と留意点を、「いつ」「なにを」「なぜ」取り組むのかという視点で俯瞰します。
- ✓ 人事の意義を知り、人事パーソンとしての資質を考え、プロフェッショナルを目指します。

開催日時 (時間) 10:00 ~ 17:00

- 大阪開催 2026年 6月23日(火)
- 東京開催 2026年 9月9日(水)
- 名古屋開催 2026年 10月6日(火)
- 福岡開催 2026年 11月19日(木)
- 東京開催 2027年 1月21日(木)

会場 ※大阪開催・福岡開催のみオンライン参加選択可

- 東京開催 日本能率協会研修室 (東京都港区芝公園)
- 大阪開催 日本能率協会研修室 (大阪市北区梅田)
- 福岡開催 リファレンス駅東ビル (福岡市博多区)
- 名古屋開催 日本能率協会 中部事務所 (JR名古屋駅直結)

講師 (敬称略)

**松下 直子** 株式会社オフィスあん 代表取締役  
社会保険労務士、経営学修士(MBA)  
人事コンサルタント

神戸大学卒業後、江崎グリコ(株)に入社。新規開拓の営業職、報道担当の広報職、人事労務職を歴任。2004年に独立し、社会保険労務士、人事コンサルタントとして顧問先の指導にあたる。「人事屋」であることを生涯のライフワークと決意し、人事の学校(人事のまなび場【庵】)の主催や人事パーソン交流の場づくり、人事情報の発信など、幅広く人事の人材育成に意欲的に取り組んでいる。

参加料 法人会員…60,500円/1名(税込)  
会員外…71,500円/1名(税込)

オープンバッジ発行対象

人事管理  
基礎セミナー

全日程への参加・事前課題の期日までのご提出など一定の基準を満たした場合は、世界共通の技術標準規格に沿って発行されるデジタル証明・認証である「オープンバッジ」を発行いたします。

## プログラム

[時間] 10:00 ~ 17:00

### 1. 人事の意義を知る

- (1) 伝統的な人事領域と、今、急速に求められる人事領域
- (2) 人事担当者の顧客と使命と成果を考えよう
- (3) 人事担当者の資質を考えよう
- (4) 各論の前に、人事制度の全体像を俯瞰しておこう

### 2. 人事担当者の仕事 12カ月

⇒4月～3月で「いつ」「なにを」「なぜ」取り組むのか俯瞰しながら、各基礎知識を学びます。

- ① 報酬制度と人件費管理の基礎知識
  - ・総額人件費の管理と個別の管理のバランス
  - ・賃金と職責、成果のバランス
  - ・ジョブ型と同一労働同一賃金の考え方
- ② 要員管理・採用の基礎知識
  - ・適正要員の考え方
  - ・人材の質と量のバランス
  - ・人材不足時代における採用実務のポイント

### ③ 配置異動・昇格昇進の基礎知識

- ・昇格昇進の運用と管理職登用の妥当性の追求
- ・人事異動のメリットとデメリット
- ・キャリア・デザインと65才超雇用の考え方

### ④ 目標管理・人事評価の基礎知識

- ・人事評価制度と、育成制度・報酬制度との連動
- ・納得性をあげる人事評価の運用ポイント
- ・目標設定とフィードバックの考え方

### ⑤ 人材育成・組織開発の基礎知識

- ・モチベーション論とリーダーシップ論の変遷
- ・人材育成体系の作り方と育成の方法論
- ・強くてしなやかな組織のつくり方

### 3. これからの人事担当者に向けてのメッセージ

- (1) 人事のプロフェッショナルを目指そう
- (2) 最後に問われるもの

※プログラムは変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

